

令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

生涯教育科学コース

入学試験問題 外国語科目 (日本語)

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は 2 枚(表紙を除く)、解答紙は 3 枚。
- 3 解答は問い番号を明記し、解答紙に記入すること。
- 4 辞書(1冊)持ち込み可とする。(電子辞書等は不可)

設問 つぎの文章を読み、問 1～3 に答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）。

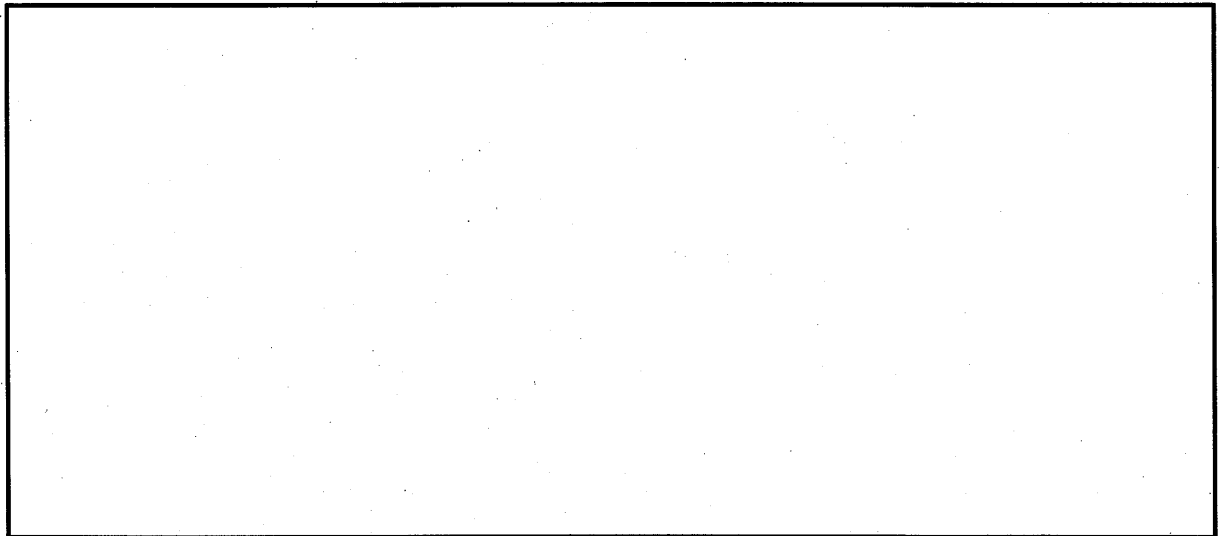
伊藤崇 『大人につきあう子どもたち 子育てへの文化歴史的アプローチ』  
共立出版、2020年、1～3頁。

また、次の部分について下線を付してあります。

下線（1） 1頁の9行目「子どもは大人につきあっている」

下線（2） 2頁の1行目～2行目「子どもはときに、教師の想定の上を  
超える」

下線（3） 2頁の18行目～19行目「子どもにとって…授業である」



(伊藤崇『大人につきあう子どもたち 子育てへの文化歴史的アプローチ』共立出版、2020、1-3 頁、一部改変)

問 1 下線部 (2)「子どもはときに、教師の想定の上を越える」とはどのようなことか。本文に即して簡潔に説明しなさい。

問 2 下線部 (3)「子どもにとって授業とは、授業であって授業でなく、授業でなくて授業である」とは具体的にどのようなことか。本文に即して整理し、説明しなさい。

問 3 下線部 (1)「子どもは大人につきあっている」という見方について、あなたの考えを 400 字程度で書きなさい。

令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

教育政策科学コース

入学試験問題 外国語科目 (英語)

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は4枚(表紙を除く)、解答紙は8枚。
- 3 辞書(1冊)持ち込み可とする。(電子辞書等は不可)

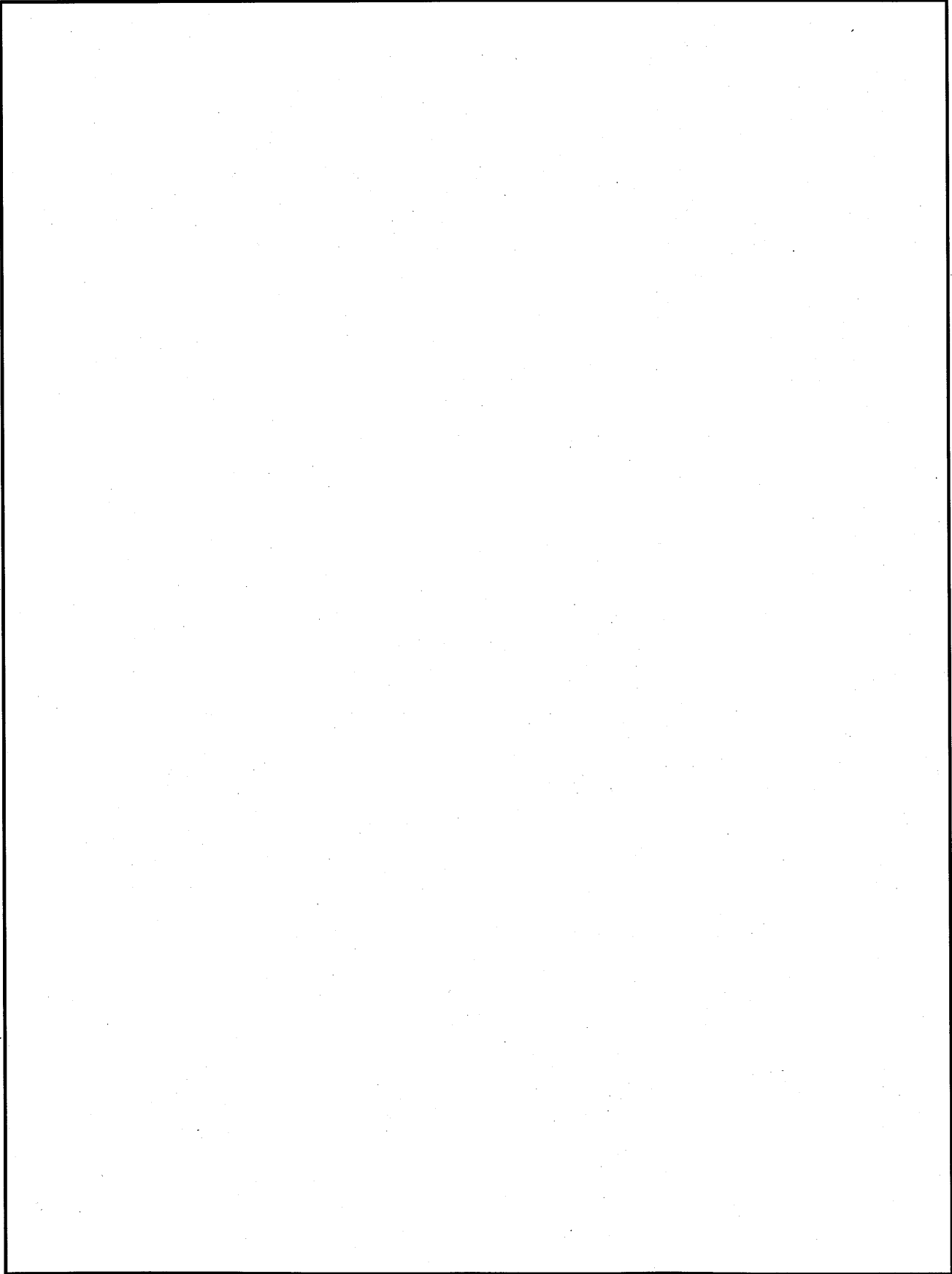
問題：

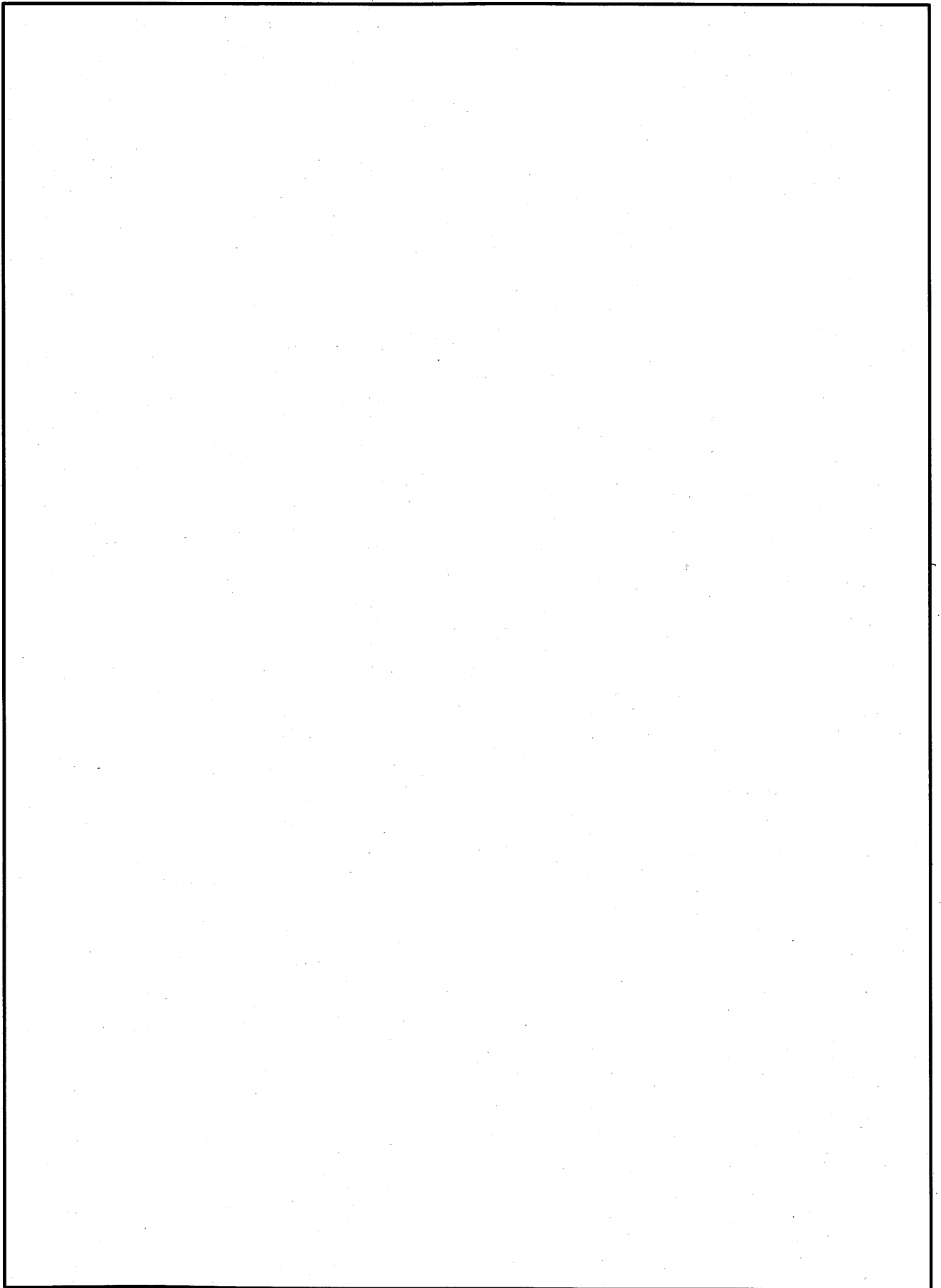
以下の文章は、Belfield, C. & Levin, H. M. (2010) "Cost-Benefit Analysis and Cost-Effectiveness Analysis," Peterson, P., Baker, E., & McGaw, B. (eds.) *International Encyclopedia of Education*, Elsevier, pp. 199-203 から一部を抜粋したものである。途中飛ばさずに日本語に訳しなさい。なお、人名の部分はアルファベットのままでよい。

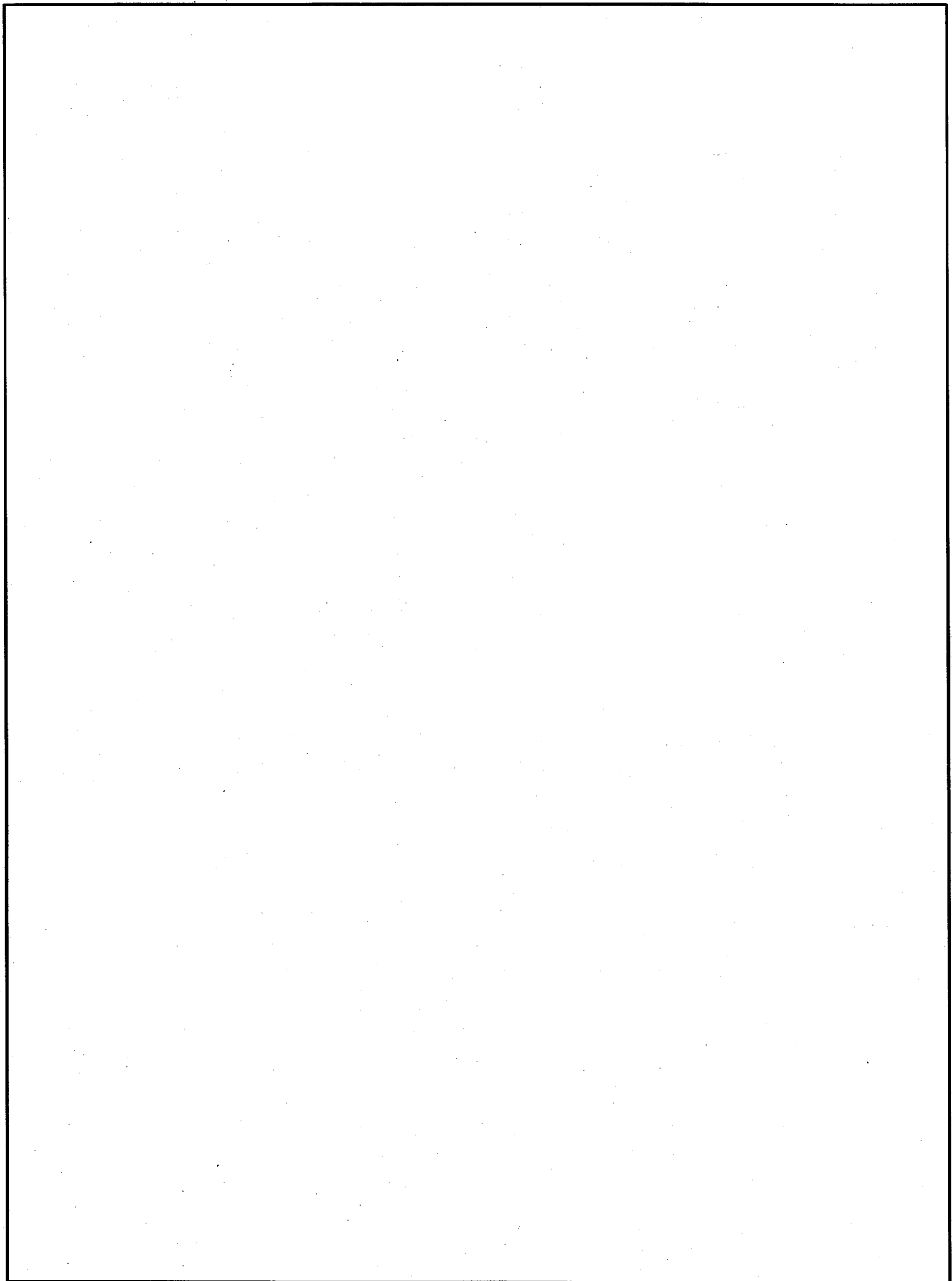
ここに下記文献の抜粋が入ります（一部改変）。

Belfield, C. & Levin, H.M. (2010) "Cost-Benefit Analysis and Cost-Effectiveness Analysis," Peterson, P., Baker, E., & McGaw, B. (eds.) *International Encyclopedia of Education*, Elsevier, pp. 199-203.

( p.199左段の1行目 Economic Evaluation of Educationから p.202右段の48行目 "...very expensive." まで。 )









令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期3年の課程・一般選抜)

教育情報アセスメントコース

入学試験問題 外国語科目 (日本語)

注 意

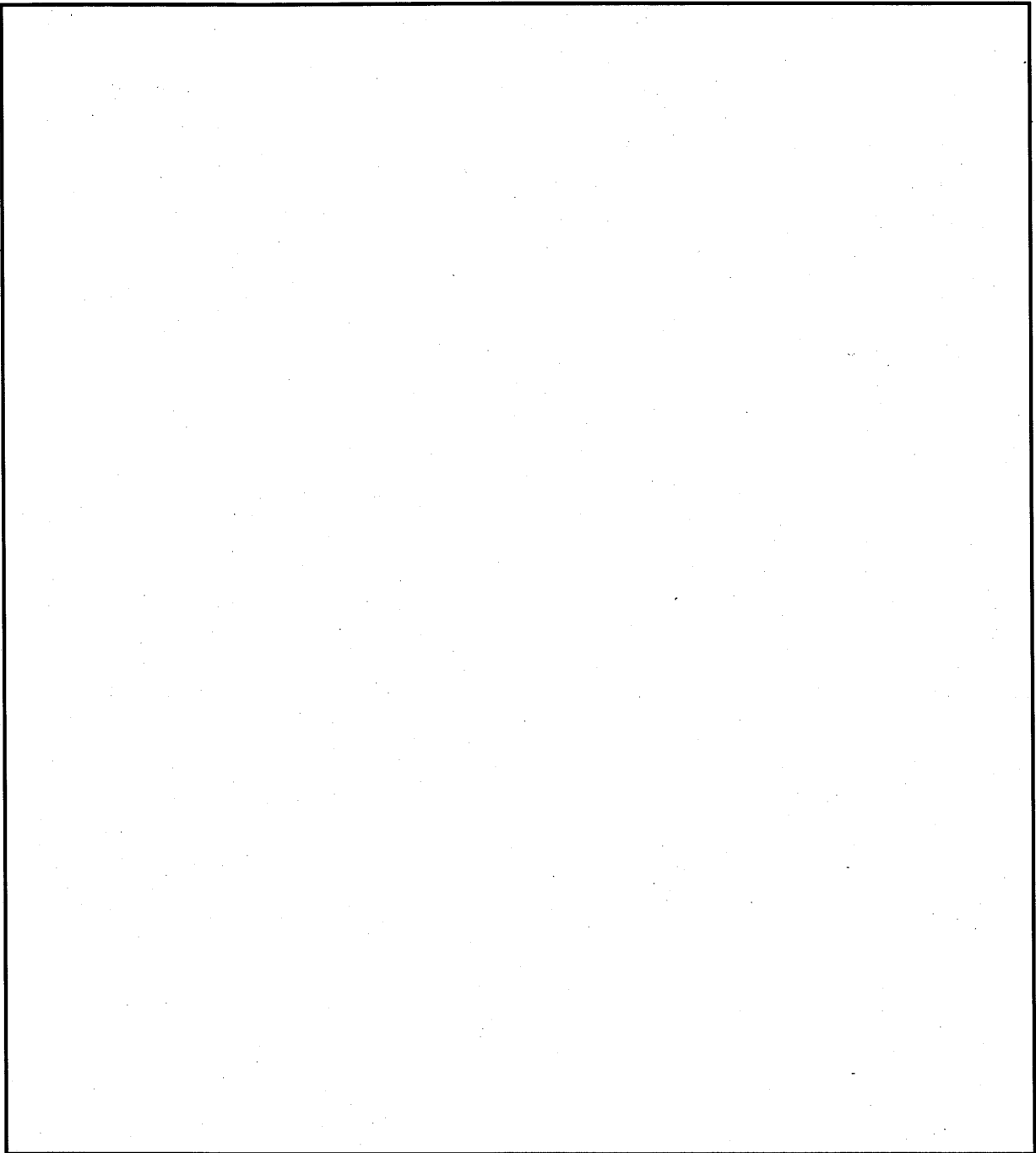
- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は6枚(表紙を除く)、解答紙は2枚、草案紙は1枚。草案紙は自由に使ってよい。
- 3 設問Ⅰと設問Ⅱの両方に解答すること。
- 4 解答は、設問ごとに解答紙1枚を使って記入すること。
- 5 辞書(1冊)の持ち込みを可とする。(電子辞書等は不可)
- 6 試験終了後、問題紙と草案紙は持ち帰ること。

設問 I つぎの文章を読んで、問に答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。

マイケル・トマセロ 『心とことばの起源を探る：文化と認知』勁草書房、2006年  
pp.1-5より一部改変。

(1頁の4行目「アフリカのどこかで、…」から5頁の11行目「…考えが出てくる。」  
まで。)



(マイケル・トマセロ (大堀壽夫ほか訳) 『心とことばの起源を探る：文化と認知』勁草書房, 2006, pp. 1-5 より抜粋・一部改変)

問1 アウストラロピテクス属とホモ・サピエンス以前のヒト属には、身体的特徴、認知能力、道具製作などの点でどのような違いがあると著者は考えているか。200字程度の日本語で説明しなさい。

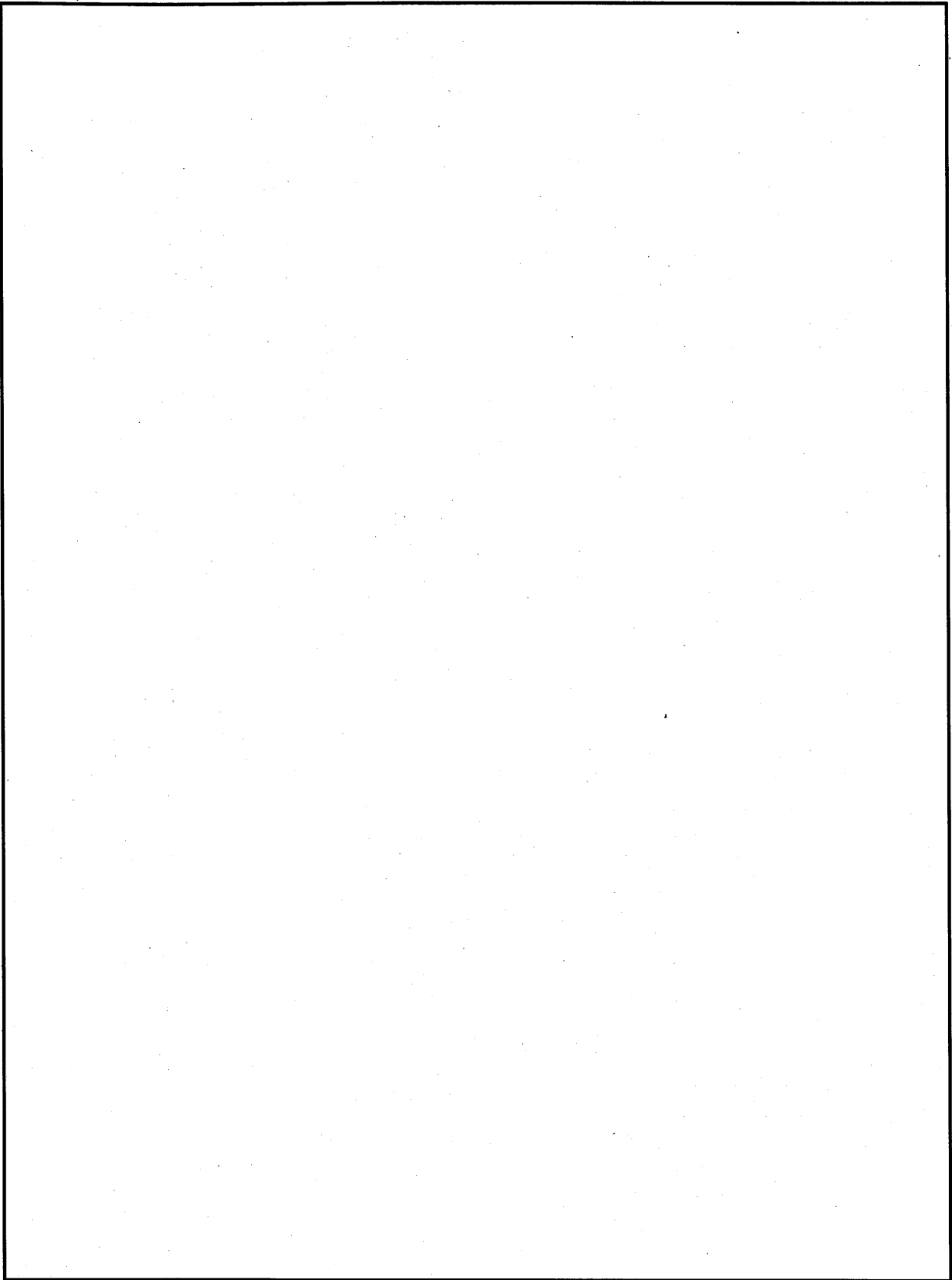
問2 ホモ・サピエンスをそれ以前のホモ属と比較すると、著者が簡条書きにした顕著な違いが見られる。どのようなメカニズムによってこの違いがもたらされたかと著者は考えているだろうか。300字程度の日本語で説明しなさい。

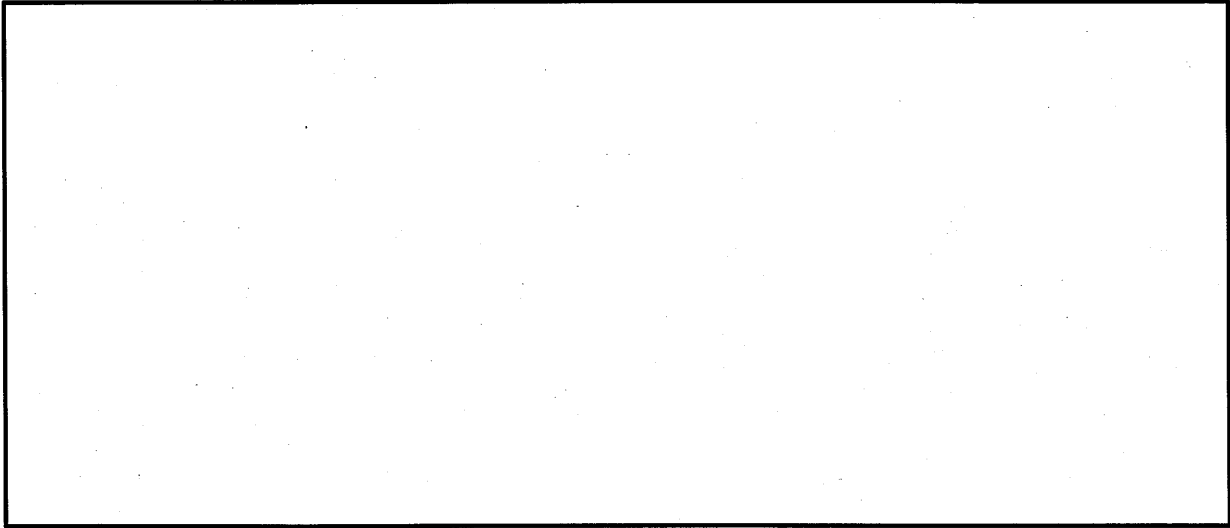
設問Ⅱ つぎの文章を読んで、問に答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。

開一夫 『ペダゴジカル・マシンの射程：相互随伴性のメカニズム』認知科学、Vol19、No.3 pp.282-286、2012、より一部改変

(282頁左段11行目「『教えること』は…」から284頁左段33行目「…有効に働く。」まで。)





(開一夫『ペダゴジカル・マシンの射程：相互随伴性のメカニズム』認知科学, Vol. 19, No. 3, pp. 282-286, 2012. 一部改変)

問1 ヒトにおける「教えること」は、ヒト以外の動物におけるそれと比較して、どのような特徴があると著者は考えているだろうか。200字程度の日本語で説明しなさい。

問2 著者の考える基準(1)～(6)を参考に、ヒトにおける「教えること」「教わること」の事例を考え、250字程度の日本語で書きなさい。また、ヒト以外の動物において、それら基準を満たさない事例(本文で紹介されたもの以外)を考え、250字程度の日本語で書きなさい。

令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

教育心理学コース

入学試験問題 外国語科目 (日本語)

注 意

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は6枚(表紙を除く)、解答紙は2枚。
3. 志望する専門分野ごとに解答する問題が異なる。問題選択の方法は問題紙中に記してあるので、それにしたがって問題を選択の上、解答すること。
4. 解答は、設問ごとに、記号番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。また、解答に当たっては、問1、問2、問3・・・の問題番号をそれぞれ明記すること。



○発達心理学分野を志望する者は、設問B-1および設問B-2に解答しなさい。

(発達心理学分野)

【設問B-1】 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

ここに下記文献の抜粋が入ります(一部改変)。

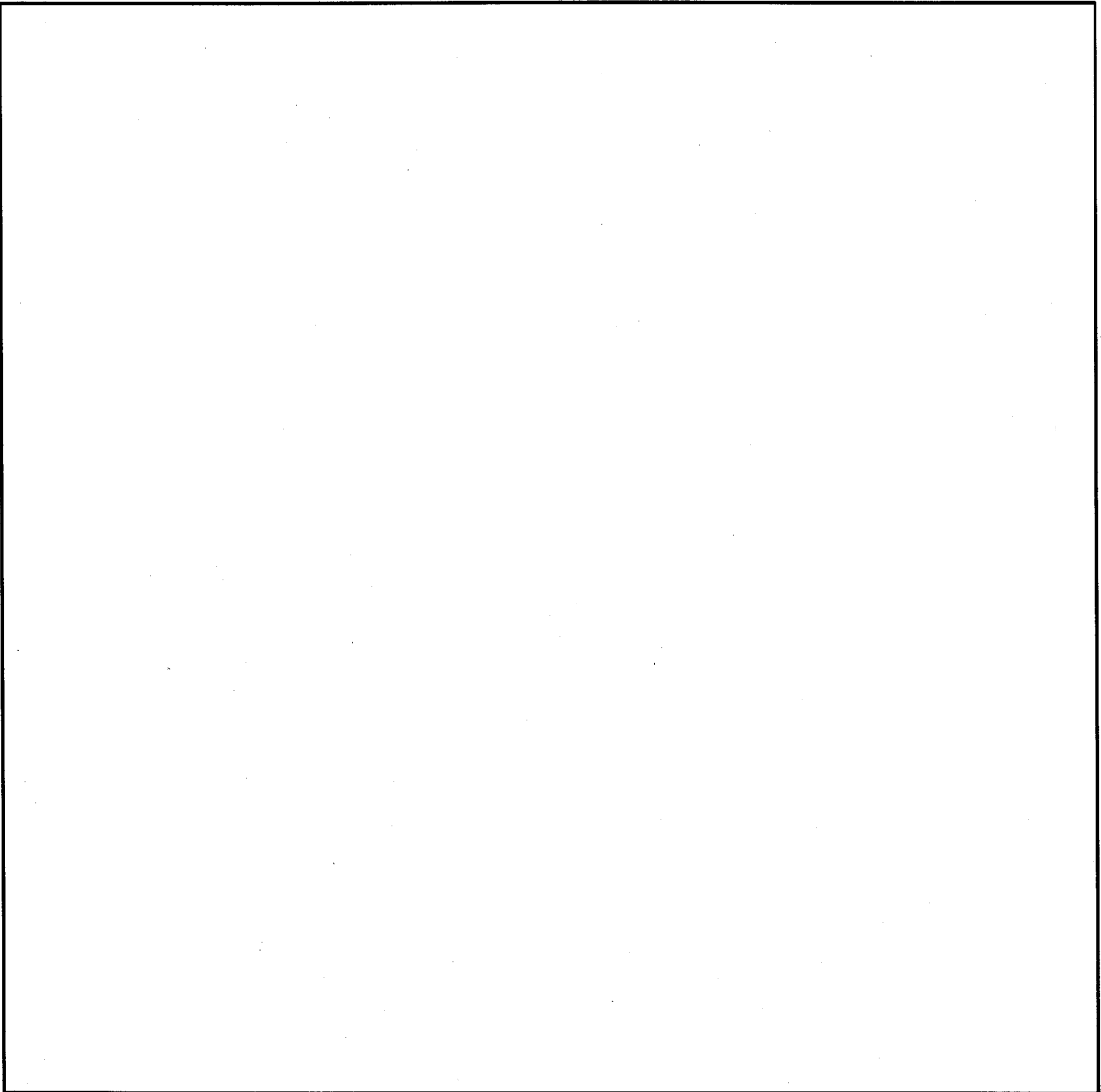
外山紀子。(2017)。幼児期における選択的信頼の発達。発達心理学研究, 28, 244-263。  
(244頁左段3行目から245頁右段17行目まで。)

また、次の部分について、下線を付してあります。

下線部(1) 244頁右段15行目～16行目「ヴィゴツキーを…社会構成主義的発達観」

下線部(2) 245頁左段10行目「選択的信頼の研究」

下線部(3) 245頁右段15行目～17行目「選択的信頼の研究は…検討する」



[ 外山紀子. (2017). 幼児期における選択的信頼の発達. 発達心理学研究, 28, 244-263. を  
改変して作成。]

- 問1 筆者は、下線部(1)の「ヴィゴツキーを代表とする社会構成主義的発達観」と下線部  
(2)の「選択的信頼の研究」で注目する「子ども観」をどのように捉えているのか。  
共通点と相違点のそれぞれを説明しなさい。
- 問2 下線部(3)について、「選択的信頼の研究は認識論における問いを発達の視点から実  
証的に検討する」とはどのような意味なのか。文中で紹介されている具体的な理論  
や実験例も用いて、説明しなさい。

【設問B-2】 次の文章を読んで以下の問いに日本語で答えなさい。

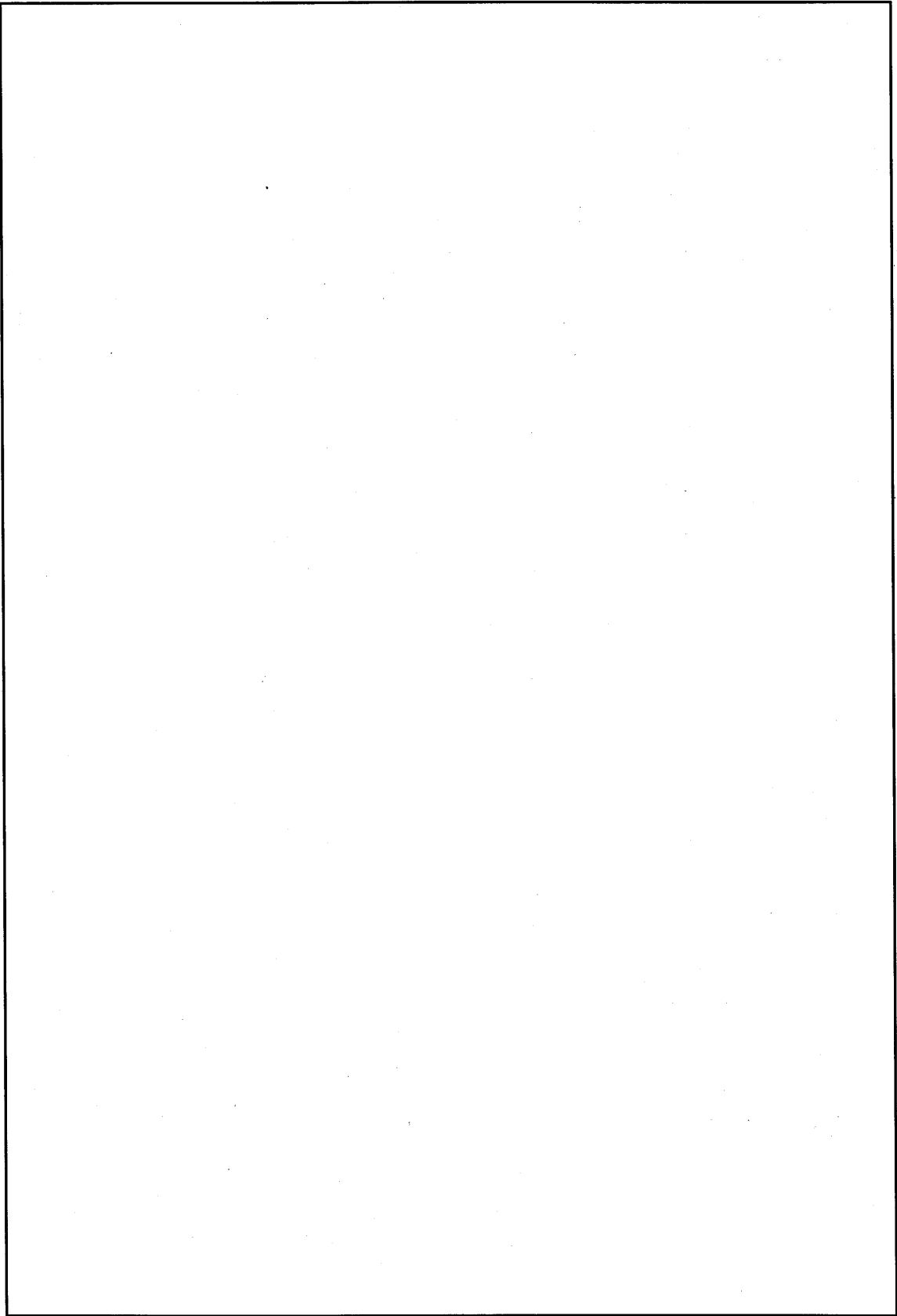
ここに下記文献の抜粋が入ります(一部改変)。

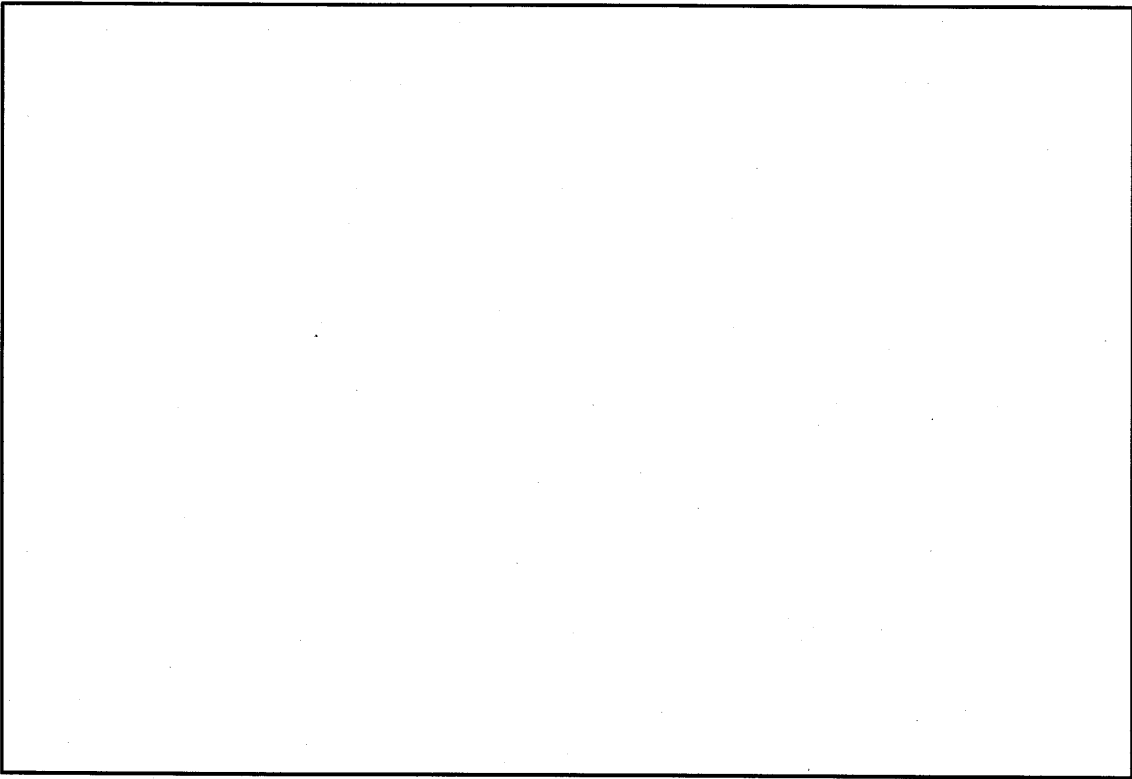
池上知子. (2017). 性差研究の最前線からのメッセージ—進化・文化論争は  
超えられるか—. 心理学評論, 60, 95-104.  
(98頁右段6行目から100頁右段1行目まで。)

また、次の部分について、下線を付してあります。

下線部(1) 98頁右段11行目~14行目「両者は…しばしばであった」

下線部(2) 100頁左段8行目「自然主義的誤謬」





【池上知子. (2017). 性差研究の最前線からのメッセージ —進化・文化論争は超えられるか—. 心理学評論, 60, 95-104. を改変して作成。】

- 問 1 下線部(1)について、それぞれどのような立場の論者が、どのような見解を有しており、どのような対立が生じていたのかについて説明しなさい。
- 問 2 下線部(2)「自然主義的誤謬」とはどのようなことか。文中の言葉を用いて具体的に説明しなさい。
- 問 3 この文章を踏まえて、心理学研究を進めるにあたっては、男女の性差についてどのように考えればよいだろうか。以下の用語を用いて、あなた自身の考えを述べなさい。

進化論, 実証主義, 反証可能性, 社会構築主義

令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 外国語科目 (英語)

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は5枚(表紙を除く)、解答紙は3枚。
- 3 設問1、設問2の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の持ち込み不可とする。

【設問 I】

以下の文章を読んで、問 1～問 5 に日本語で解答せよ。

- 問 1. 文中における The female protective effect theory (FPE theory) とはどのような理論か。簡潔に説明せよ。(10 点)
- 問 2. 下線部①\_\_\_\_を和訳せよ。(10 点)
- 問 3. 下線部②\_\_\_\_に示されている, the EMB theory (the extreme male brain theory) に基づく予測は実証的知見によって支持されているといえるか。文中における具体的な知見に言及しつつ簡潔に述べよ。(10 点)
- 問 4. 下線部③\_\_\_\_が表す内容について説明せよ。(10 点)
- 問 5. 下線部④\_\_\_\_に示されている内容はどのような点で問題になりうるか。④\_\_\_\_の内容に言及しながら, 文中の内容に基づいて説明せよ。(10 点)

ここに当該文献の  
307 ページ左段 27 行目から 307 ページ右段 10 行目  
の部分が掲載されています。



ここに当該文献の  
307 ページ右段 10 行目から 308 ページ左段 4 行目  
の部分が掲載されています。

出典 : Hull, L., Petrides, K.V. & Mandy, W. (2020). The female autism phenotype and camouflaging: A narrative review. *Review Journal of Autism and Developmental Disorders*, 7, 306–317. (一部を抜粋)

【設問Ⅱ】

以下の文章を読み、この論文の目的・方法・結果・考察を要約せよ。

ここに当該文献の  
1021 ページ目  
の部分が掲載されています。

ここに当該文献の  
1022 ページ目  
の部分が掲載されています。

ここに当該文献の  
1023 ページ目  
の部分が掲載されています。

出典 : Li, C., & He, Y. (2008). Morita therapy for schizophrenia. *Schizophrenia Bulletin*, *34*,  
1021–1023.

令和3年度

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(後期課程・一般選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 外国語科目 (日本語)

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は8枚(表紙を除く)、解答紙は4枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の持ち込み不可とする。

【設問 I】

以下の文章は、福島朋子と沼山博によるもので、web版の心理学研究（2019）に掲載されている“子どもを持たない中年期成人における世代性と主観的幸福感”という論文の一部である。これを読み、以下の問1~問8に答えなさい。

問1 下線部①~④のカタカナを漢字で記し、漢字はその読みを記しなさい。（8点）

問2  に関して、文脈上適切な内容を記しなさい。（4点）

問3  に関して、文脈上適切な内容を記しなさい。（4点）

問4    に適切な語句を記しなさい。（10点）

問5 文中の福島・沼山（2015）の知見とその他の先行研究を踏まえると、女性における世代性行動と主観的幸福感の関係はどのようなものになると予想されるか述べなさい。（4点）

問6 本論文が指摘している福島・沼山（2015）の研究上の問題点を述べなさい。（4点）

問7 本論文が指摘しているRothrauff & Cooney（2008）の研究上の問題点を述べなさい。（4点）

問8 文中のRothrauff & Cooney（2008）の知見と福島・沼山（2015）の知見の共通点と相違点を述べなさい。（12点）

ここに当該文献の、  
551 ページ左段 1 行目から 552 ページ左段 50 行目  
の部分が掲載されています。

ここに当該文献の、  
552 ページ右段 1 行目から 553 ページ左段 25 行目  
の部分が掲載されています。



ここに当該文献の、  
552 ページ右段 1 行目から 553 ページ左段 48 行目  
の部分が掲載されています。

出典：福島 朋子・沼山 博（2019）. 子どもを持たない中年期成人における世代性と主観的幸福感 心理学研究, 89, 551-561.

【設問Ⅱ】

以下の文章は、松本俊彦による『「助けて」が言えない SOSを出さない人に支援者は何ができるか』という書籍の一部である。これを読み、以下の問1～問6に答えなさい。

問1 下線部①～④について、漢字はその読みを記し、カタカナは漢字で記しなさい。(8点)

① 更生 ②吐露 ③ゴカイ ④ドンカン

問2 下線部(A)について、筆者がコメントの内容に対して「心底腹が立った」のはなぜだと思われるか。文章の内容に基づいて述べなさい。(8点)

問3 下線部(B)の「ヤキを入れられた」とはどのような意味だと思われるか。文章の内容から推測して述べなさい。(8点)

問4 下線部(C)の「私の質問はすべて確信犯的なものであった」とはどのような意味か。文章の内容に基づいて述べなさい。(8点)

問5 下線部(D)について、刑務所が薬物依存症患者を「嘘つき」にしてしまうのはなぜか。文章の内容に基づいて述べなさい。(8点)

問6 下線部(X)について、「薬物依存症患者の援助希求」を阻害する要因と促進する要因を文章の内容に基づいてまとめなさい(10点)

ここに当該文献の、  
54 ページ 1 行目から 56 ページ 16 行目  
の部分が掲載されています。

ここに当該文献の、  
56 ページ 17 行目から 59 ページ 3 行目  
の部分が掲載されています。

ここに当該文献の、  
59 ページ 4 行目から 60 ページ 2 行目  
の部分が掲載されています。

出典：松本俊彦（2019）. 「やりたい」「やってしまった」「やめられない」—薬物依存症の心理 松本俊彦（編）「助けて」が言えない SOS を出さない人に支援者は何ができるか（pp.54-60） 日本評論社